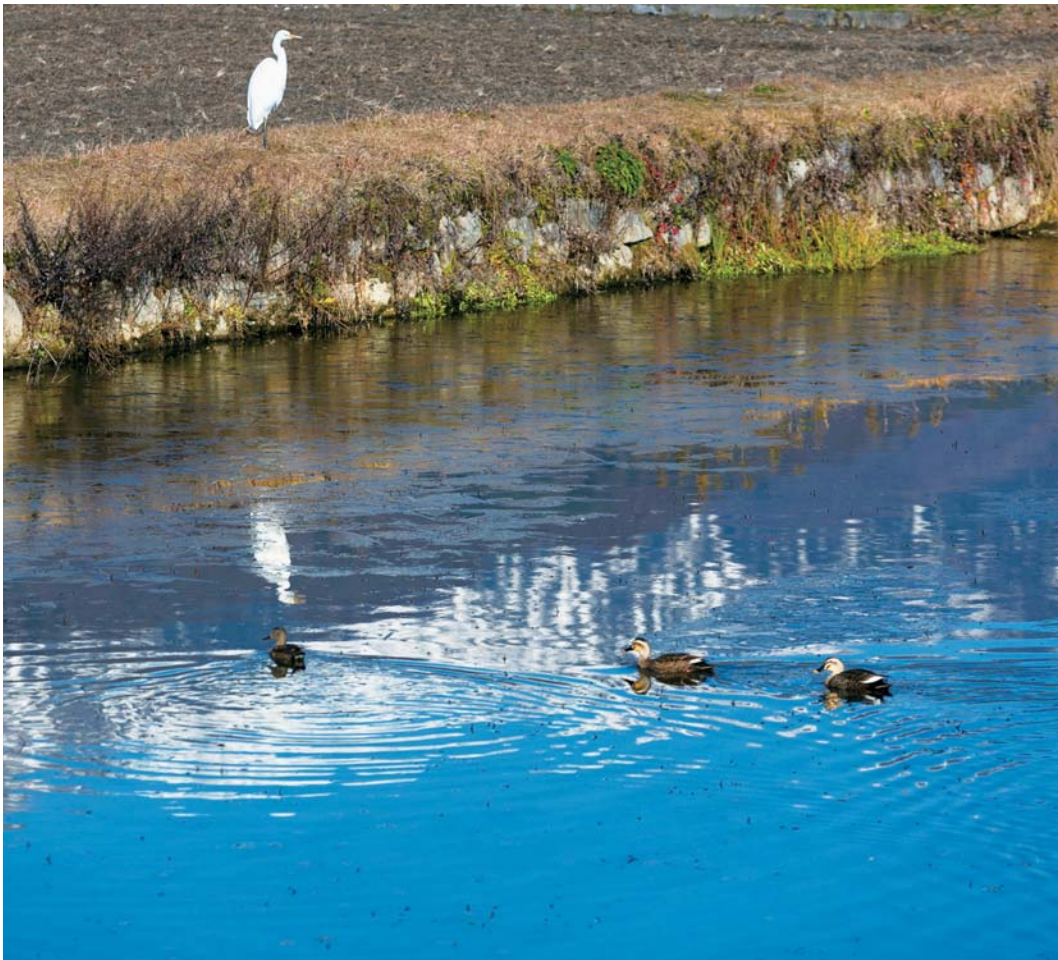




平成28年12月15日

2面	若者事業
3面	ツツギヤマジノギクの保護
4・5面	スポーツ・情報
6面	みんなで仲良く 資料館だより
7面	なかまたち・地域を知る講座 こどもの詩
8面	名子区民演芸会 古町区民演芸会へんべん草



まつかわ百景 ⑨4

「薄氷溶ける」原田のつつみ

松川町史学会は松川町合併の以前から、大島史学会同好会、上片桐史跡保存会、生田史談会などがあり昭和46年(1971)に松川史学保存会として発足して、町内の史跡調査、古文書の整理保存、民俗資料の調査、保存等の仕事をしてきております。

昭和51年(1976)に名称も松川町史学会となり現在に至っております。

松川町史学会誌発行1号は平成5年(1993)であり以来毎年発行を続けてきております。

第14号より特集として「養蚕の思い出」「三六災害の思い出」「お祭」「水」「山」「道」、20号は記念文集として特別号の発刊をし、21号「公民館」、22号「果樹百年」というように特集を載せてまいりました。

尚、研修旅行は、平成4年より毎年実施されております。誰でも参加できる楽しい旅行になってきております。

松川町の大島、上片桐、生

主張

「松川町史学会」について

田地区においては先人達の残したすばらしい文化、遺産等があります。今までの史学会誌でそれは発表されておりますが今一度、地区の遺産、史跡等を足運んで酒井幸則先生の説明を戴きながら勉強をしたらという事で、今年、第1回は部奈地区を、第2回は大島地区を実施しました。現地に行つて実際にその史跡等に向き合つて説明を聞けば、今まで解つていなかったことの再確認ができたことと非常に好評でした。次は上片桐ということになっております。

先人の皆さんの作つてきた、守つてきた文化遺産等をもう一度現地に入つて向き合つて勉強すること必要大切な事と思ひます。

松川町はすばらしい史跡遺産が多い町です。皆さん史学会に入つて勉強してみませんか、お奨めします。

伊藤頼人



今回、稲刈りに参加してくれた若者は4人。少しずつ集まりの悪くなつていく若者事業に愚痴をこぼしたくなりましたが、少人数でも忙しい中、集まってくれた若者に感謝の気持ちでいっぱいです。

稲刈り体験

6月の田植えから早3か月。稲穂が重そうに風に揺られながら、私たちに刈られるのを待ちわびているようでした。9月17日、待ちに待った稲刈りの日がやってきました。天気は快晴ではありませんでしたが、雨は降らずにすみました。

田植えに引き続き、小学生以来の稲刈り。小学生の頃は、成人してから鎌を持って稲刈りをするなんて思ってもいませんでした。そんなことを思いながら、長靴を履き、軍手をし、いざ、田んぼの中へ。水はほとんどありませんでした。そして、誰一人転ぶことなく、稲刈り作業は順調に進みました。

私たちが稲刈りしたのは、田んぼの四隅だけです。その後は、コンバインがやってきて、あつという間にすべての稲を刈っていきました。機械



作業を見てみると、私たちが手作業で稲を刈った苦労が、水の泡のように感じました。

その後、少しの稲を持って、交流センターみらいへ移動しはぎかけをしました。交流センターみらいの職員の方から稲の束ね方を教えていただき、束ねていきました。初めての体験、だつたので、多少手をおぼつかせながらも、なんとかすべての稲を束ねることができました。そして、選果場側のフェンスにかけて、乾燥させました。あとは、おいしく食べられるのを待つのみとなか、そして、収穫祭がどう調理するのか、収穫祭が待ち遠しいです。

🍚 収穫祭!!

11月12日、いよいよ収穫したお米を食べる時がやってきました。午後、新しくなった中央公民館に集まり、収穫したお米をどのように調理して味わおうか、検討会を行いました。結局、「お米本来の味を味わおう」ということになりました。そして、白米には白米に合うおかずが必要です。そのおかずとして、秋になると美味しいサンマ、ひと肌恋しい季節にはびつたりなおでん、他にも旬の野菜をサンマと一緒に焼いたりして、冷えたビールで乾杯しました。

自分たちで愛情込めて田植えから行うことで、お米に愛着が湧き、普段食べているお米よりも一段と美味しく感じました。そして、自分の手で作ることに、農家をしている方の大変さや、お米を毎日食べられることの幸せを改めて感じることで、今年度の若者事業はこの収穫祭をもちまして、一旦の区切りとさせて頂きます。若者事業活動を通して、ご協力いいただきました地域の皆様、公民館主事の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。若者が活動できる機会をつくっていただき、本当にありがとうございます。引き続きやることは難しいということを感じました。



参加者代表 中島李野

中央公民館から

次年度は、今の若者が求めているものや、やりたいことに耳を傾け、若者がもっと気軽に集まり、意見を交換できるようにする方法を考え、実現させたいと思います。

松川町中央公民館



松川町の貴重な植物（絶滅危惧種）

ツツザキヤマジノギクを 知っていますか

ツツザキヤマジノギクは長野県にしかないノギクの一つで自生確認地（自分の力で育っているところ）は中川村の小渋川と松川町の天竜川です。しかし中川村のツツザキヤマジノギクは壊滅的な状態で、残っているのは日本で松川町の天竜川付近しかありません。県の絶滅危惧1A類とされています。



ツツザキヤマジノギクは小石だらけの河原で生育することを好み、秋に落ちた種が翌年春芽生え、秋にかけてタンポポの葉（ロゼッタ）状に育ちます。それが枯れて冬越しした次の2年目の春から秋にかけて茎が伸び、晩秋、筒状の花びらの先が2つに割れたうすい藤色の花を咲かせます。以前は大鹿村や高森町、豊丘村、飯田市などでも結構見られたのですが、ダムが設置され洪水が減り、ロゼッタ状の草花に適した河原が少なくなりました。また高温・乾燥・低温・貧栄養などの厳しい自然条件の玉石河原でも平気な外来植物の侵入が増えた



ツツザキヤマジノギク

こと。燃料が石油・ガス・電気になり、薪炭材としての雑木林の伐採がなくなり、河原の樹林化が進み、ツツザキヤマジノギクが絶滅しそうな状況になっています。初夏を迎えると、ツツザキヤマジノギクの自生する天竜河原には黄色のじゅうたんを敷いたようにオオキンケイギクが咲き誇ります。近頃は飯田下伊那地域のあちこちに黄色いコスモスのような植物が数多く生えています。実は外来植物で繁殖力が強く、



伊那谷自然友の会 堤久先生（左）

日本古来の植物を駆逐してしまっています。またシナダレスズメガヤやメリケンカルガヤなどの植物がはびこり、そのまま放置すればツツザキヤマジノギクが生育する環境がますますなくなります。



外来植物の駆除作業

ツツザキヤマジノギクにかかわった活動としては国交省天竜川上流河川事務所主催で行われた「天竜川自然観察会」や松川青年の家主催の「松川プログラム・天竜川の植物観察と魚と」があります。また、松川町の社会教育委員による保護活動として町内の天竜川河川敷の場所を決めて年2回外来植物の駆除作業と秋に咲くツツザキヤマジノギクの観察会を行っています。今年10月

22日に天竜川上流河川事務所、建設環境研究所の協力を得て、松川町公民館主催で「ツツザキヤマジノギク観察会」が行われました。保護活動を行うようになってから花の数が増えています。伊那谷自然友の会の堤久先生より「貴重な植物であることや世界でここにしか生育していない植物を守る活動の大切さ」について教えていただきました。

今年10月22日に天竜川上流河川事務所、建設環境研究所の協力を得て、松川町公民館主催で「ツツザキヤマジノギク観察会」が行われました。保護活動を行うようになってから花の数が増えています。伊那谷自然友の会の堤久先生より「貴重な植物であることや世界でここにしか生育していない植物を守る活動の大切さ」について教えていただきました。



花の咲いている株を数える

冷たい風に負けるなスポーツ

第32回 松川町駅伝大会

11月6日(日)第32回松川町駅伝大会が行われました。昨年は雨で中止となりましたが、強風吹くなか、沿道の応援に励まされ全36チームがたすきをつなぎました。



松川町と豊丘村の合同チーム



たすきをつなぐために懸命に走る

松川・豊丘消防団合同 A・B・C・D

今回、初めて豊丘村の消防団と松川町の消防団がタッグを組み、4チームが参加しました。松川町第4分団長下澤さんと豊丘村第1分団長筒井さんに感想をお聞きしました。

合同訓練は3年目で今までは非常想定訓練等をしていましたが、体力強化訓練も必要だということで今回駅伝大会



もうすぐゴール。最後の力走！

に初めて合同チームで出場しました。初めて走ってとても大変で辛かったです。沿道のみなさんのおかげでなんとか走りきることが出来ました。今回の駅伝大会でとてもいい交流ができ、体力強化訓練にも繋がりました。自分たちは来年抜ける身ですが、今後同じ訓練でも違った訓練の形でいいので交流は続けていって欲しいと思います。と語っていました。

大島剣道クラブ 第102回飯伊地区 剣道大会団体戦

11月6日(日)に飯田市武道館で第102回飯伊地区剣道大会団体戦が行われました。結果は次のとおり。

〈中学生男子の部〉

- | | |
|-----|-------|
| 準優勝 | 松川 文 |
| 先鋒 | 長砂 秀飛 |
| 次鋒 | 清水 聖都 |
| 中堅 | 荒川 想太 |
| 副将 | 平島 颯人 |
| 大将 | 熊谷 眞綱 |
| 第3位 | 松川 義 |
| 先鋒 | 橋場 光希 |
| 中堅 | 細田 侑哉 |
| 副将 | 大場 楓希 |
| 大将 | 鈴木 雅人 |

〈中学生女子の部〉

- | | |
|-----|--------|
| 第3位 | 松川 秀 |
| 先鋒 | 斎藤 真由 |
| 中堅 | 水野 佐映 |
| 大将 | 玉置 妃夜里 |



〈一般の部〉

- | | |
|-----|-------|
| 準優勝 | 亀山 忠頼 |
| 先鋒 | 長谷部 徹 |
| 次鋒 | 中野 文義 |
| 中堅 | 岩崎 秀成 |
| 副将 | 後藤 安成 |
| 大将 | |



訂正とお詫び

館報まつかわ637号(11月号)に掲載いたしました、「松川町文化祭」の中で、「ドクターイエロー」が「ドクターカー」となっております。訂正し、お詫び申し上げます。

第32回 松川町駅伝大会結果

平成28年11月6日(日) 午前9時10分スタート



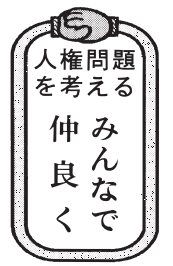
総合優勝	松川高校陸上部A
	1時間08分00秒

【部門別入賞チーム】

部門別	優勝	準優勝	三位
一般男子	松川ファイターズ 1時間23分22秒	2分団A 1時間24分06秒	航空電子 1時間24分49秒
一般女子	北小姫と若武者たち 1時間28分14秒		
高校生男子	松川高校陸上部A 1時間08分00秒	松川高校陸上部B 1時間12分31秒	1年2組完走目指す 1時間26分06秒
中学生男子	北安松川中学校 1時間12分22秒	松川蹴球 1時間15分03秒	松川中サッカー一部2年 1時間17分19秒
中学生女子	北安松川中学校 1時間31分18秒	バドレンジャー 1時間33分32秒	バドガールズ 1時間36分54秒
小学生男子	陸上アスリートジュニア 1時間22分47秒	松川ミニバス男子 1時間31分03秒	
小学生女子	陸上アスリートレディ 1時間28分33秒		

【個人区間優勝者】

部門	区間	1区	2区	3区	4区	5区	6区
		(3.5km)	(3.2km)	(3.0km)	(2.3km)	(2.6km)	(3.5km)
一般男子	氏名	佐々木寛弥	牛久保卓	佐々木誠	北澤義典	久保田航	福島直哉
	チーム	松川ファイターズ	2分団A	2分団A	2分団A	福与中の村	福与中の村
	タイム	11分10秒	12分55秒	15分26秒	08分09秒	10分58秒	16分35秒
一般女子	氏名	棚田勇氣	小飼遼	堀内久美	柿部奈央	棚田元気	林亮太
	チーム	北小姫と若武者たち	北小姫と若武者たち	北小姫と若武者たち	北小姫と若武者たち	北小姫と若武者たち	北小姫と若武者たち
	タイム	11分49秒	13分42秒	22分24秒	12分13秒	11分37秒	16分29秒
高 校 生 子	氏名	後沢大地	河合蓮	近藤恵哉	近藤雅哉	林龍介	小平宗弥
	チーム	松川高校陸上部A	松川高校陸上部A	松川高校陸上部A	松川高校陸上部A	松川高校陸上部B	松川高校陸上部A
	タイム	11分04秒	09分50秒	13分13秒	07分09秒	11分07秒	14分18秒
中 学 生 子	氏名	齊藤建	薛哲平	鈴川翔梧	宇留賀駿	松尾健大	薛信之介
	チーム	北安松川中学校	北安松川中学校	松川蹴球	北安松川中学校	松川中サッカー一部1年B	北安松川中学校
	タイム	12分06秒	10分54秒	13分49秒	07分28秒	11分23秒	15分34秒
中 学 生 子	氏名	白澤優里佳	原知愛	保井梨里	山一実希	田中詩織	松下陽佳
	チーム	北安松川中学校	北安松川中学校	バドレンジャー	北安松川中学校	バドレンジャー	バドレンジャー
	タイム	13分37秒	14分11秒	17分27秒	10分02秒	14分36秒	18分09秒
小 学 生 子	氏名	大蔵永竣	下平侑輝	安藤陽人	中原稜	近藤皓哉	山崎拓夢
	チーム	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア
	タイム	13分39秒	13分54秒	16分03秒	08分57秒	12分11秒	18分03秒
小 学 生 子	氏名	関島瑠愛	吉澤詩乃	宮下莉瑚	湯澤帆花	熊谷朋華	山城春菜
	チーム	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ
	タイム	14分02秒	15分10秒	16分39秒	09分26秒	13分51秒	19分25秒



松川 中央小学校

杉原千畝について

6年1組 羽生 みずほ

私は杉原千畝さんのことをすごいと思いました。なぜかという、ユダヤ人6千人以上の人を救ったということです。ユダヤ人を救うために、にせものビザを書いたけど、私だったら書けません。なぜなら、許可がないのに、書くのはいやだし、それで仕事がなく

なってしまうかもしれないし、もししたら命が危なくなってしまうかもしれないからです。杉原千畝さんすごいと改めて思いました。その勇気がすごいと思えました。私も杉原千畝さんみたいにになりたいと思いました。

すごくいい人

6年1組 和地 恒英

ぼくは、3時間杉原千畝さんのことを勉強して、いろいろなことが分かりました。2時間目の勉強で、ビザを発給するかどうかせまられたとき、千畝さんは、自分ではなくユダヤ人のことを

優先してビザを書いた事は、すごく勇気があるなあと思いました。最後に電車に乗せられてもビザを書こうとして、ものすごくいい人だなあと思えました。ぼくは千畝さんのように勇気があってみんなから信頼されるものすごくいい人になりたいなあと思いました。

杉原千畝に学んだこと

6年2組 林 亜麻音

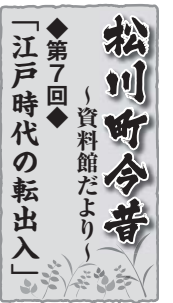
多くのユダヤ人の命を救った杉原千畝について学びました。戦争に向かう中、ナチスの人たちは、ユダヤの人たちのことを「人」と思っていないほど簡単に命をうばっていききました。私は、そのことがとてもひどいなと思いました。ユダヤの人たちの命を見捨てずにいた千畝さんとその家族はすごいなと感じました。今でもある人種差別をなくし、みんなが仲良くなればいいのになと思います。私も困っている人がいたら、手を差し伸べたいと思います。

杉原千畝さんの授業を受けて

6年3組 小西 美嶺

私は、杉原千畝さんの事についての授業を受けて、もし自分だったらビザを発行したかどうか、という時になった時に私は「ビザを発行しない」にしました。なぜかという、国からもダメと言われているし、それに背いてビザを発行すれば自分の家族にも迷惑がかかってしまいます。それに、先の事を考えても、もしユダヤ人が日本に行けたとしても、助かるか分からないからです。

でも千畝さんは「ビザを発行する」にしました。自分がどうなっても、国に背いても、もしかしたらユダヤ人が助からないかもしれないでも、ユダヤ人のたくさんの人の命を優先させることを選んだ杉原千畝さんの事を私はすごいな、と思ったし、りっぱだな、と思いました。私もそんなふうになれたらいいなと思いました。



松川町資料館に寄託された上新井村共有文書の中、「村送り一札」という文書が何通か入っています。この文書は当時の人々が他の村へ引越をする場合に持参した書類で、現在の転出証明書に当ります。上新井村共有文書の安政年間（1854～60）の文書の中に14通ほどありました。転出が9通で転入が5通です。転出が9通で転入が5通で、養子による転出入が4通、家族ぐるみの引越しが1通です。この「村送り」という書類は、結婚・離婚・養子・養子離縁・家族事情による引越しなどの時に作られます。



文書を作成しているのは、村の庄屋（名主）あるいは宿場では問屋）です。文書の宛先は先方の村や町の庄屋などです。そしてどんなことが書かれているかと言え、結婚の場合結婚する女性の親の名前・娘の名前と年齢・間を取り持つてくれた人の村名や名前・結婚する相手の親の名前と結婚する男性の名前などです。そして必ず書かれています。決まり文句は、「こちらの村の宗門人別（戸籍台帳から抜きますので、そちらの宗門人別へ加えてください）」ということですが、

年齢を見てみると20歳以下も三人ほどいますが、多くは二十歳代前半人だけです。現在に比べると比較的若くして縁付いたことがわかります。転居する際には、この「村送り」とともに持つていく書類がもう一つあります。それは「寺送り」というものです。檀家になっている寺から先方の檀家になる寺への転出証明書です。こうした書類は村役人を務めた家の文書の中や、村共有の文書の中に、けっこうたくさん残っているものなんです。この文書から当時の人々の実態がいろいろわかります。

松川町資料館 伊坪 達郎





文化祭で憩いのひと時を 煎茶の会 (宮澤教室)

松川町文化祭が始まったころから長きにわたり、訪れた方にお茶でもおもてなしをしていただいている煎茶の会の宮澤教室の皆さん。

文化祭の中で、至福の一杯をいただいた方も多いのではないのでしょうか。

普段は、さまざまな活動をする中で、月に一度集まり、お稽古や勉強会を開催しています。集まって手作りの料理を持ち寄り、いろいろな話をするのが楽しみと語る代表の宮澤敏子さん。

文化祭では、この宮澤さんたちのもてなす、一杯のお茶を楽しむに参加される方も多そうです。

お湯と茶葉というシンプルな組み合わせですが、同じお茶でも、入れ方、時間、分量と細やかな配慮で味に大きな違いが出てきます。

是非皆さんも一杯のお茶に癒されてみてはいかがでしょうか。うか。



すぽっと 地域を知る講座11/18 昭和史の学び直し 「戦争は避けられなかったのか」

11月18日(金)に中央公民館において、長野県立歴史館学芸部長の青木隆幸先生をお招きして昭和史を学び直す学習会が行われ50名を超える参加者が熱心に聴講されました。

内容は

「外交：開戦は避けられなかったのか」

「軍部：学ばない組織の暴走」

「敗戦から何を学ぶか」

の三部構成でした。

1937年7月に起きた盧溝橋事件から終戦に至るまでのアジア・太平洋戦争について資料や映像を使いながら丁寧に話していただきました。


参加者からは

「情報が十分に伝わり正しい判断をすれば被害を拡大させることはなかった。」

「いまさら戦争をやめることはできない」という軍部の判断が状況を悪化させたとも言える。ずるずると戦争が長引いた理由が初めてわかった。」

「言葉を奪われた社会の悲劇。言葉のある社会の大切さ。振り返ることの大切さが心に残った。」などの感想が残されました。





えいが

中央小3年 細田 梓温

えいがは楽しい
心がわくわくして
楽しい
えいがはかなしい
いろんな人とあつてわかる
場面がかなしい
えいがはうれしい
人と人があつてできて
うれしい
えいがはこわい
町とか人をおそつたりする
場面がこわい
えいがはみんなに一つ一つ
思い出をのこしてくれる

毎月第3日曜日は
家族ふれあう
「家庭の日」

かくれんぼ

中央小3年 まつお あやか

かくれる私
しずかにかくれる
みつからないように
ちがうばいよに
かくれようかな
おには見つからないように
見つかつちゃった
さんねんだな
でも、おもしろかった

古町区民演芸会

11月20日(日)午後5時より、古町コミュニティセンターにて『古町区民演芸会』を開催致しました。この2週間前に行いました文化祭と演芸会は隔年で行っており、今年が開催年となりました。文化祭・演芸会共に出品数・参加人数が年々減少傾向にある中、毎回積極的に協力して下さる方もいらつしやいますし、開催を楽しみにしてくれてい

る方も大勢おられます。今年の演芸会は、3つの組合の他、保育園児、小学6年生、祭典組等、計8組の演目のご披露となりました。その他、文化祭の優秀作品の表彰や、ジャンケンゲーム・抽選会を行い、最後に優秀演芸賞の発表を行いました。古町区には芸達者な方が大勢いらつしやり、お酒も入り会場はびっくりするくらい大いに盛り上がりました。冒頭で申し上げた通り、毎回縮小傾向にはありますが、

開催すれば、やはり皆さん喜んで頂きますし、区の良い親睦の場ともなりますので、何とか継続していかねければいけないと思います。我々公民館スタッフも、準備に大変な労苦を要する訳ですがイベントが成功裏に終われば、やはり疲れも吹き飛びます。今後は、時代の流れに沿った形で、少しづつ趣向を変えながら行っていく事が大切かなと感じています。

名子区民演芸会

恒例開催の名子地区公民館のクラブ発表・区民演芸会が平成28年11月19日・20日に行われました。

今年では中央公民館竣工、町議会議員選挙の関係から、例年より遅れての開催となりましたが、先人の方々や区民の皆様のご協力により40年間継続開催してきたという偉大な

クラブ発表・区民演芸会

盛況に開催

意義をかみ締めながら事前準備から開催当日まで総力で取り組みました。平均年齢?歳の元氣一杯のパッション、心に染み入る朗吟、幼児から大人まで総勢30人の自治会参加の可愛いダンス(写真)、OKカルテットの素晴らしい楽器演奏、少年少女太鼓クラブのお腹に響く勇壮な演奏、名子区会、地区館部員の趣向を凝らしたパフォーマンスの披露で約300人の観衆から拍手の

連続でした。最後の盛り上げは、有志のカラオケ大会、そしてデイズニールランド入場無料ペア券が当たる大抽選会が行われ、ゲートボールクラブの方が見事1等賞をゲットするなど最高潮を迎え盛大のうちに終了しました。出場くださいました皆様、そしてご来場いただきました多くの区民の皆様にご心から感謝を申し上げます。



夢の章

夢によくカエルが出てくる。学校のプールいっぱいカエルがいて、その中でみんな水泳をしている。ありえない。「カエル嫌い!!」とか言っているからちよくちよく出てくるのかな。それにしても出てき過ぎるので、夢占いで調べてみた。

カエルが出てくる夢には、様々な意味があるらしい。カエルという生き物が、水(霊界の象徴)と陸(現実世界の象徴)二つの世界で生存できることから「福神」や「守り神」としての意味や、「若ガエル」、「よみガエル(蘇る)」、「幸せをむカエル(迎える)」、「福をむカエル」というような意味があるそう。そして、私が見た大量のカエルが出てくる夢の意味には、人間関係や信頼関係の暗示だそう。そうは言っても、何が正しい情報なのか分からない世の中なので、毎晩「カエルが出てきませんように」と祈りながら寝るしかない。それが、好印象にするためにカエルに頑張ってもらおう。「宝くじを当ててください」(笑)

中島李野

公民館報
「まつかわ」
第 638 号
平成28年12月15日

発行所 松川町公民館 誠
責任者 小 沢 誠
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。